

## 第I編 業務の概要

### 1. 業務の目的

本業務は、平成 23 年版産業連関表及び関連統計等を基に、平成 23 年版環境分野分析用産業連関表（平成 23 年版環境 IO）及び「平成 23 年版環境分野分析用産業連関表作成要領」等を作成することを目的とする。

環境分野分析用産業連関表（以下「環境 IO」という）は、我が国の経済及び環境問題の相互関係に関する構造を把握するとともに、間接的な波及効果も含めた経済・環境分析を行うものである。

本業務において作成した環境 IO は、政府・企業・研究者等による経済・環境分析のプラットフォームとして整備したものであり、経済と環境問題に関する広範かつ膨大な量の統計情報を一覧化した。

### 2. 環境 IO 作成の経緯

環境 IO の充実に関しては、平成 21 年 3 月に閣議決定された「公的統計の整備に関する基本的な計画」において、環境省を担当省として、総務省及び経済産業省と協力しつつ、検討を開始することとされた。

また、平成 26 年 3 月に閣議決定された「公的統計の整備に関する基本的な計画」では、平成 23 年版環境 IO の検討の結論を平成 29 年度末までに得ることとされた。

### 3. 業務内容

#### 3-1 平成 23 年版環境 IO の作成

平成 23 年版環境 IO について、①平成 23 年版産業連関表をベースとした取引基本表、②関連統計等を基に内生部門及び最終需要部門ごとの環境負荷等を物量単位で記載した資源・環境負荷表（環境フロー表）及び③分析等に必要となる情報を示した参考表の作成を行った。

計 7 種類（原燃料（投入）、エネルギー（投入）、原材料資源（投入）、水資源（投入）、温室効果ガス（排出）、廃棄物等（排出）、大気汚染物質（排出）、水質汚濁物質及び排水（排出））の環境フロー表について、内生部門の第一次及び第二次産業は産業連関表の統合中分類（108 部門）、第三次産業は統合大分類（37 部門）で構成することとした。

### 3-2 廃棄物処理部門及び廃棄物等再資源（投入）表の作成

平成23年版環境IOの取引基本表における廃棄物処理部門及び廃棄物等再資源（投入）表を作成した。

### 3-3 検討会の開催及び専門家ヒアリングの実施

上記3-1～3-2に関する検討を行い、作成された環境IOの効果や妥当性を判断するため、有識者による検討会を設置して検討等を行った。あわせて、当該検討会の下で有識者によるワーキンググループを開催し、エネルギー資源（投入）表及び温室効果ガス（排出）表についての詳細な検討、上記3-2に関する詳細な検討等を行った。

また、上記3-1～3-2を効果的に実施する上での知見等を得るため、有識者等へのヒアリングを行った。